

2019 年度スポンサー企業公募のご案内

大学院生・大学生と社会人が共にイノベーションを学ぶ場をつくる。 i.school はそのイノベーション教育・研究活動をさらに進化させるべく、大学の垣根を超えたイノベーション教育の新たなプラットフォームとなることを目指しています。

i.school は、2009 年度の発足より一貫して進めて参りましたイノベーションハブとしての場づくりの一層の進化のために、多様なステークホルダー、すなわち、企業と積極的につながり、相互に学び合う場を創出することをミッションとしています。

世界トップのイノベーション・スクールとなることを目指し、i.school はこの場をさらに広げていきたいと考えています。こうした i.school の理念や活動に共感して頂き、さらに活動を支援して頂けるスポンサー企業を募集いたします。

プログラム

2019 年度の年間を通じて i.school 内外のファシリテーターによる 8 つのワークショップを開催します。

【ワークショップ】

	日程	ファシリテーター	会場	言語
WS1				
	4 月末～5 月初旬 2 泊 3 日合宿形式	堀井秀之	東京大学山中湖寮	日本語
WS2				
	5 月 5 日程度	横田幸信	i.school スタジオ	日本語
WS3				
	6 月 4 日程度	柴田吉隆	i.school スタジオ	日本語
WS4				
	7 月 2 日 (終日) 程度	粟田恵吾	i.school スタジオ	日本語
WS5*				
	(2018 年実績) 7/30-8/10	堀井秀之	東大駒場キャンパス他	英語
WS6				
	9 月 2 日 (終日) 程度	Miles Pennington	i.school スタジオ	英語
WS7				
		濱口秀司 (予定)	i.school スタジオ	日本語
WS8				
	10 月～12 月 (10 回程度) 毎週 (水) 19 時-22 時、(土) 終日 1 日程度	堀井秀之	i.school スタジオ	日本語

※プログラム日程、内容は、今後変更する可能性もあります。

* WS5 は TISP (東京イノベーションサマープログラム) として開催され、海外の学生も参加します。東京でのワークショップと地方でのフィールドワークにより構成されます。

【体験ワークショップ】

半日のイノベーションワークショップを体験いただくプログラムです。

※年間 1~2 回程度の開催を予定しています。(5月を予定)

※目的は、i.school のワークショップについて社内で興味のある人たちに気軽に参加していただく機会をつくることです。

※テーマと内容は i.school で設定いたします。※参加者は i.school 生と複数社のスポンサー企業社員です。

【イントーク】

国内外のイノベーション研究者、実践者をゲストに招き、レクチャーとディスカッションを行うクローズドイベントです。i.school 関係者をまじえた活発な議論に参加することが出来ます。

※原則月 1 回程度の開催です。

<新規特典>

【イノベーション人材活用研究会】(仮称)

i.school で学んだイノベーション教育の方法論を社内で活用・促進するための方法を課題共有、議論する、スポンサー企業のためのワークショップです。

【留意点】

ご協賛頂く場合、以下の点についてご留意下さい。

・ i.school は、学生に対してのイノベーション教育機会の提供を目的としています。

i.school プログラムのテーマや日程、講師などは、学生に対する教育効果を優先事項として設定させて頂きま

す。

・ワークショップにアサインされた貴社参加者は、原則全ての日程に参加をお願いいたします。チームで活動を進めるため、メンバーの欠席はチームの生産性とモチベーションに悪影響を与えるためです。ご了解をいただけますと幸いです。

【参考資料】

・下記の URL から i.school の過去の活動事例集や報告書がダウンロード出来ます。ご参考までにご覧下さい。

<http://ischool.or.jp/archives/annual-report/>

・過去スポンサーとしてご参画頂いた企業のリストは、以下のページをご参照ください。

<http://ischool.or.jp/about/>

【お問い合わせ】

担当：小沢 info<at>ischool.or.jp

【ワークショップ設計・ファシリテーション】

堀井秀之



i.school エグゼクティブ・ディレクター。東京大学名誉教授。JSIC（日本社会イノベーションセンター）理事。1980年東京大学工学部土木工学科卒業、ノースウェスタン大学大学院修士課程・博士課程修了。専門は社会技術論、国際プロジェクト論、イノベーション教育論。i.school エグゼクティブ・ディレクターとして、i.school 運営を統括する。東京大学知の構造化センターではセンター長として、分散する知の構造化と価値化をテーマに研究開発を推進。著書に「問題解決のための『社会技術』」（中公新書）、「社会技術論：問題解決のデザイン」（東京大学出版会）など。

横田幸信



i.school ディレクター。イノベーションコンサルティング企業 i.lab, Inc. マネージング・ディレクター。小学生向けの教育系 NPO Motivation Maker ディレクター（副代表理事）。九大院理学府修士課程修了後、野村総合研究所、東京大学先端科学技術研究センター技術補佐員、東大院工学系研究科博士課程中退を経て現職。イノベーションの実践活動と科学・工学的観点からのコンサルティング事業及び研究活動を行っている。著作に「INNOVATION PATH」（日経 BP 社）

粟田恵吾



株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門ディレクタ。
1982年、九州大学経済学部卒業。株式会社博報堂でマーケティングリサーチ&プランニングに従事した後、英国 Business Futures 社のライセンスを得て、2003年博報堂フォーサイト/2007年博報堂イノベーションラボを発足。不確実な未来を洞察することを源泉とした新規事業・新技術開発（イノベーション）支援に従事。また、米国 IDEO 社との協業も開始し、エスノグラフィックリサーチを活用したデザインイノベーション支援に従事。2015年、日本総合研究所に新設された未来デザイン・ラボに合流。共著に「**「九州未来図 2010~4つのシナリオ~」**（阪急コミュニケーションズ）など。

濱口秀司



monogoto, CEO, ziba, executive fellow 松下電工（株）にて研究開発に従事後、戦略投資案件の意思決定分析担当となる。1998年米国のデザイン・イノベーションのコンサルティング会社 ziba に参画。USBフラッシュメモリをはじめとする数々のコンセプトづくりをリード。IDEA 金賞など数々のデザイン賞を受賞。その後、松下電工（株）新事業企画部長、パナソニック電工米国研究所（株）上席副社長、米国ソフトウェア開発ベンチャーCOOを歴任。2009年戦略ディレクターとして ziba にリジョイン。2013年 ziba Executive Fellow, 取締役会特別顧問。自らの実験会社 monogoto を起動。コンセプト立案、戦略構築について独自の理論と方法論を持ち、数多くのクライアントのイノベーションに関わっている。ドイツ RedDot デザイン賞審査員。

柴田吉隆



1999年日立製作所入社。ATMなどの公共情報機器のプロダクトデザインを担当したのち、公共交通分野におけるデジタルサイネージやICカードを用いたサービスのデザインを担当。2009年からは、金融機関や自動車会社などのコーポレートウェブサイトやウェブを活用した新規サービスのデザイン、顧客協創スタイルによる業務改革などに従事。2011年より現職に就き、サービスデザインの方法論開発を担当。